



雪のツーリストキャンプ

会報

モンゴル

VOL. 55 2009.12.3

●発行所 中山 喜重
長野県モンゴル親善協会
長野市南町528
TEL-FAX 026-235-6717

モンゴル国との友好親善の絆を深め
創立20周年を迎える

長野県モンゴル親善協会は1990年に設立された。爾來、「モンゴル親善交流視察団」の派遣、各種イベントを通じての啓蒙、大寒波・大干ばつへの支援、留学生への支援等々、幅広い活動を推進し、本年創立20周年の節目の年を迎えた。

そこで二つの記念イベントを計画した。一つは砂漠化が深刻なモンゴルの大地に3,000本の木を植樹する「モンゴル体験5日間の旅」(9月19日〜23日)で、二つ目は多年にわたり交流を温めてきたモンゴル第2の都市ダルハン市を県都とするダルハン・オール県の労使代表の招聘である。

「親子で行くモンゴル体験5日間の旅」訪問団の派遣

モンゴルの大地に3,000本の苗木を植樹すること、今秋招聘予定のダルハン・オール県の労使代表との面談を主目的に、9月19日(土)〜23日(水)5日間の日程で実施した。

団長・中山喜重会長ほか16名が参加したが、現地が14年ぶりの季節外れの大雪(積雪20cm)に見舞われ、予定を大幅に変更のやむなきに至った。そこで、ウランバートルに近いツーリストキャンプ(下ガドハド)に移動し、ダルハン・オール県の労使代表と面談し、11月11日の20周年記念レセプションへの招聘を正式に伝えるとともに懇談した。ただ残念ながら植樹は明春に持ち越された。

ツーリストキャンプでは、現地の関係者との交流、乗馬体験やミニナードム(モンゴル相撲・子どもの競馬)を見学、満天の星や大草原の息吹を満喫した。



ダルハン労使代表と団員

ダルハン・オール県の
労使代表の招聘

第16次(平成17年)「モンゴル産業経済・視察団」の訪問からモンゴル第2の都市ダルハン市を県都とするダルハン・オール県の労使代表との交流を温めてきたが、本県への訪問を強く切望されていたので招聘を計画、ダルハン・オール県経営者協会会長チンバッド氏を代表として、同県労働組合会長ナツグアドルジ氏ほか総勢5名が11月9日(月)〜13日(金)の予定で来県された。

この間、県庁、連合・長野、県経営者協会、県労働金庫、全労済・県本部を訪れ、活発な質疑応答が行われた。また、長野日本無線機、株式会社コーポレーション、オリオン機械の先進3社のほか、流通業態を視察するなど、本県の産業経済や労働事情などの理解に努めた。また、ハードスケジュールの合間をぬって観光地などを精力的に視察された。

そして、創立20周年記念歓迎レセプションに臨まれ、県内を代表するオビニオンリーダーとの交歓を図るなど、所期の目的を果たし、再会を期して離日された。